

授業科目名	デジタルヒューマニティーズ
科目番号	0ATW13C
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火7,8
担当教員	宇陀 則彦, 和氣 愛仁, 堤 智昭
授業概要	デジタルヒューマニティーズは人文学資料にデジタル技術を適用することで、伝統的手法では得られなかった知見を得ることを目的としている。講義では、テキストを資源化するためのテキストエンコーディング、絵図から作成当時の文化や社会を考察する図像分析、歴史文書に自然言語処理手法を適用する文書解析、古地図や古文書の記述を地理情報システムにマッピングする手法、画像ファイルを簡単に流通させるための規格であるInternational Image Interoperability Framework(IIIF:トリプルアイエフ)等について解説する。
備考	東京キャンパス開講;毎年日本語で授業;情報インタラクション専門科目 0ATW137と重複履修不可。 01MBE03と同一。 オンライン(オンデマンド型)
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	意味的研究力 システム専門知識 リソース専門知識
授業の到達目標(学修成果)	(1) デジタルヒューマニティーズにかかわる基礎概念を理解できるようになる。 (2) 文系と理系の枠組みを超えた歴史資料の分析ができるようになる。
授業計画	オンライン(オンデマンド型)で授業を行う。各回の授業コンテンツはmanabaに掲載する。 第1回 デジタルヒューマニティーズとは 担当:堤 智昭 第2回 デジタルヒューマニティーズの技術 担当:堤 智昭 第3回 訓点資料の電子化と計算機を用いた解析 担当:堤 智昭 第4回 画像共有のためのフレームワーク 担当:和氣 愛仁 第5回 多言語資料を対象とした言語学的分析とデータ構造設計 担当:和氣 愛仁 第6回 多言語資料を対象としたデータ関係のためのインターフェイス構築 担当:和氣 愛仁 第7回 デジタルアーカイブ 担当:宇陀 則彦 第8回 文化情報資源共有化とジャパンサーチ 担当:宇陀 則彦 第9回 デジタルライブラリ導入の実際 担当:宇陀 則彦 第10回 記録とテキストとドキュメント、そして、メディア 担当:宇陀 則彦
履修条件	
成績評価方法	・レポート100%とする。評価の観点、(1)デジタルヒューマニティーズの基礎概念が理解できているかどうか、(2)自分の専門分野との関わりにおいてデジタルヒューマニティーズの意義を理解できているかどうか、とする。 ・レポートの各評価項目について、A+、A、B、C、Dで評価し、評価を点数化する。C(60点)以上で合格とする。 ・フィードバックはレポート評価についてmanaba上で簡単に解説する。
授業外における学修方法	毎回の授業内容に対するコメントをmanabaの小テストで提出する。このコメントをもって学修成果を確認する。
教材・参考文献・配付資料等	講義資料は各回授業開始時までにmanabaに掲載する。

教材・参考文献・配付資料等	参考書 (1) Text Encoding Initiative (TEI). http://www.tei-c.org/ (2) International Image Interoperability Framework (IIIF). http://iiif.io/ (3) The Alliance of Digital Humanities Organizations. http://adho.org/ (4) 後藤真, 田中正流, 師茂樹. 情報歴史学入門. 金寿堂出版, 2009. (5) 一般財団法人人文情報学研究所 (監修), 欧米圏デジタル・ヒューマニティーズの基礎知識, 文学通信, 2021. (6) 一般財団法人人文情報学研究所 (監修), 人文学のためのテキストデータ構築入門: TEIガイドラインに準拠した取り組みにむけて, 文学通信, 2022. (7) 一般財団法人人文情報学研究所 (監修), IIIF[トリプルアイエフ]で拓くデジタルアーカイブ: コンテンツの可能性を世界につなぐ, 文学通信, 2024.
オフィスアワー等(連絡先含む)	宇陀 則彦 水曜7限 7D210 or 7B316 uda at slis.tsukuba.ac.jp https://trios.tsukuba.ac.jp/researcher/0000002438 和氣 愛仁 随時(要事前連絡) 人文社会学系棟 B612 (内)4420 waki.toshihito.fn at u.tsukuba.ac.jp 堤 智昭 tsutsumi.tomoaki.gn at u.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	生成AIは, 「教育における生成AI 活用のガイドライン (学生向け)」を参照し, 適切に活用してください。 生成AI による提案や回答が必ずしも正確とは限らないため, 得られた情報は批判的に評価し, 責任をもって内容を精査してください。 https://www.tsukuba.ac.jp/about/action-management/pdf/AI-20241114134800-1.pdf
他の授業科目との関連	OATW155 アーカイブズ OATW156 博物館情報メディア OATW15F 博物館情報メディア
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	人文学資料; デジタル技術; 方法論の共有地